

# 平成30年度 太陽の家キャロット 自己評価結果（公表）

公表 平成31年3月14日

事業所名 社会福祉法人 光友会 太陽の家キャロット

|         |   | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など  | 備考   |
|---------|---|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか   | ○  |     |  |  |
|         | 2 | 職員配置数は適切であるか   | ○  |     | ●2グループに分けて活動しているが、各々のグループ児童の特性に合わせて部屋の配置等を変更して、対応している。<br>●活動内容によっては、保育士を増やして欲しい場合がある。<br>●法的な配置基準は、満たしていると思うが、活動内容によっては、配置以上の職員が必要と思われる場合がある。 | ◎配置基準の職員を配置していますが、児童状況や療育プログラムによっては、不足を感じる場合があります。   |
|         | 3 | 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか              | ○  |     | ●子供の特性に合わせて、視覚支援として、簡単なスケジュールやコミュニケーションカードを活用している。<br>●毎日、職員間で振り返る時間を持つようになっている。また、構造化にも取り組んでいる。   | ◎構造化には、積極的に取り組んでいます。が、老朽化の目立つ建物のため、バリアフリー化等は、十分対応できない現状があります。  |
|         | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか                                       |    | ○   | ●毎週末には、おもちゃ、机、椅子、床についても消毒を行っている。   | 建物は、43年を経過し老朽化が著しい状況です。日々、清掃や消毒等により衛生面の課題に対処していますが、建物の構造の問題も含め、改善には苦慮しています。建物全体の再整備の話がありますが、具体的には、不明の状況です。 |
| 業務改善    | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか  | ○  |     |  |  |
|         | 6 | 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか                               | ○  |     |  |  |
|         | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公表しているか | ○  |     |  |  |
|         | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  |    | ○   |  | ◎第三者評価は受けていませんが、外部SVの助言を受け、改善を心掛けています。   |

|  |    |   |   |   |   |   |
|--|----|---|---|---|---|---|
|  | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○ |   | ●研修のお知らせ等で周知し、適宜、研修に参加している。                                       |   |
|  | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○ |   |   |   |
|  | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   |   | ○ |   | ◎今後、標準化されたアセスメントツールについて検討し、日常的に活用できるようにしていきたいと考えています。 |
|  | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ |   |   |   |
|  | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○ |   |   |   |
|  | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | ○ |   | ●キャロット担当で相談し合いながら、時には、PTやOT、臨床心理士等の意見を確認しながらチームプレーを意識しながら取り組んでいる。 |   |
|  | 15 | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか  | ○ |   | ●他のクラスから情報を得たり、セラピストから意見を確認して、対応するようにしている。                        |   |
|  | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか   | ○ |   |   |   |
|  | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか   | ○ |   | ●その日の狙いや目標等を話し合ってから子どもの対応を行うようにしている。                              |   |
|  | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の振り返り、気付いた点等を共有しているか   | ○ |   |   |   |
|  | 19 | 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | ○ |   | ●日々の活動記録を見返して、キャロット内で話し合いをしている。                                   |   |
|  | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○ |   | ●セラピストや心理の助言を受けて、モニタリング等を記載するようにしている。                             |   |
|  | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が出席しているか  | ○ |   |   |   |

適切な支援の提供

|                |    |  |   |  |  |  |
|----------------|----|--|---|--|--|--|
| 関係機関や保護者との連携関係 | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか   | ○ |  |  |  |
|                | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか                         | ○ |  |  |  |
|                | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか                                     | ○ |  |  |  |
|                | 25 | 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | ○ |  |  |  |
|                | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか   | ○ |  |  |  |
|                | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか  | ○ |  | ●研修には、出来るだけ参加するようにしているが、事業者間の連携までは、出来ない。                   |  |
|                | 28 | 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか  | ○ |  | ●キャロットは年少児のみなので、他の保育園や幼稚園との交流は、行っていない。                     | ◎年中児となって、しいの実学園に移行した場合は、交流保育を実施しています。              |
|                | 29 | 自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか   | ○ |  |  | ◎年中児となって、しいの実学園に移行した場合は、職員が会議に参加しています。             |
|                | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか  | ○ |  | ●保護者の呼び込み(親子通園)に合わせて、出来るだけ保護者との会話を持ち、共通理解を図るようにしている。       |  |
|                | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者等に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか。   | ○ |  | ●保護者教室などは、しいの実学園の中で積極的に行っている。                              | ◎今後も保護者教室の企画・運営には、その重要性を認識し、力を入れて取り組んでいきたいと考えています。 |
| 保護者への説明責任等     | 32 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか  | ○ |  |  |  |
|                | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ |  |  |  |
|                | 34 | 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○ |  | ●呼び込み(親子通園)の機会を多く取っており、その時に出来るだけ保護者と共通理解を持てるように話す機会を持っている。 |  |
|                | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | ○ |  |  |  |

|         |   |   |   |  |  |                                   |
|---------|---|---|---|--|--|-----------------------------------|
| 非常時等の対応 | 36  | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速に対応しているか | ○ |  | ●面談等の希望があった場合は、極力対応している。                     | ◎保護者から面談等の申し込みがあった場合は、迅速に対応しています。 |
|         | 37  | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか                            | ○ |  |  |                                   |
|         | 38  | 個人情報の取り扱いに十分配慮しているか   | ○ |  |  |                                   |
|         | 39  | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                      | ○ |  |  |                                   |
|         | 40  | 事業所の行事に地域の住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか                                     | ○ |  |  |                                   |
|         | 41  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか     | ○ |  |  |                                   |
|         | 42  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                       | ○ |  | ●毎月、しいの実学園と一緒に避難訓練を実施している。                   |                                   |
| 43      | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか   | ○   |   | ●資料や保護者への確認等により、事前にそのような情報の確認を必ず行っている。 |  |                                   |
| 44      | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                     | ○   |   |  |  |                                   |
| 45      | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○   |   |  |  |                                   |
| 46      | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか                                      | ○   |   |  |  |                                   |
| 47      | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもの保護者に事前に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○   |   |  | ◎身体拘束に当たる行為は、一切行っておりません。全職員も常に意識して支援を行っています。 |                                   |